

対象：小学4・5・6年生

なまはげの里フィロソフィ(小学生版)

～未来の自分をつくっていくために～



令和6年1月

男鹿市教育委員会

年	組	名前
---	---	----

目次

はじめに

なまはげの道徳「なまはげの里^{さと}フィロソフィ」

- 1 感謝^{かんしゃ}の心^{こころ}をこめた、元気^{げんき}なあいさつをしよう
- 2 自分^{じぶん}から考^{かんが}え、行^{こう}動^{どう}しよう
- 3 笑^え顔^{がお}が幸^{こう}福^{ふく}を招^{まね}く「笑^{わら}う門^{かど}には福^{ふく}来^きたる」
- 4 毎^{まい}日^{にち}を大^{たい}切^{せつ}に生^いきよう
- 5 新^{あたら}しいこ^とにチャレ^ンジし^よう
- 6 運^{うん}動^{どう}する習^{しゅう}慣^{かん}を身^みにつけよう
- 7 自^じ分^{ぶん}とち^がう考^{かんが}えも大^{だい}事^じにし^よう
- 8 心^{こころ}を一^{ひと}つにし^てみ^んなで取^とり組^くもう
- 9 進^{すす}んで仕^し事^{ごと}に取^とり組^くもう
- 10 男^お鹿^がの魅^み力^{りょく}をい^っぱい見^みつけよう



はじめに なまはげの道徳「なまはげの里フィロソフィ」

「なまはげ行事」には「勉強や仕事に一生けん命に取り組むこと」「家族を大切にすること」「お年寄を大切にすること」「子どもをかわいがること」など、人として大切な思いがこめられています。

“なまはげの里”男鹿で受けつがれてきた「なまはげの道徳」をみなさんにも受けついでほしいと思います。

また、だれかのために行動する「利他の精神（りたのせいしん）」は、自分だけでなく、まわりの人も幸せにします。一人一人が「利他の精神」で行動できれば、すてきな学級や学校になると思いませんか。

「未来の自分をつくっていく」ために、みなさんに考えてもらいたい10のことを「なまはげの里フィロソフィ」としてまとめました。自分の今までのことをふりかえり、これからの自分をつくっていくために読んでみてください。

【なまはげの道徳】

明るさ・礼儀正しさ・謙虚さ^{けんきょ}
公平さ・正義感・優しさ・思いやり

【利他の精神】

人は自分以外のだれかのために行動するとき、最高の力を発揮^{はつき}し、最高の喜びを感じる

フィロソフィとは？

- ・ 哲学（てつがく）
- ・ ものの見方や考え方



1 ^{かんしゃ} ^{こころ} 感謝の心をこめた、^{げんき} 元気なあいさつをしよう

みなさんは、毎日どんな気持ちであいさつをしていますか。

あいさつの「あい」には、心を開くという意味、「さつ」には、その心に近づくという意味があり、「あなたのことを大事に思っています」という気持ちがこめられています。

あいさつは、「心のキャッチボール」です。友達や先生、地域の方に「おはようございます」と「あいさつのボール」を投げて、相手から「おはようございます」とボールが返ってくると、すがすがしい気持ちで1日をスタートできますね。

家庭で、学校で、地域で、たくさんの人とあいさつをしてみましょう。



2 ^{じぶん}自分から ^{かんが}考え、^{こうどう}行動しよう

自分から考えて一生けん命に取り組んだときに、「とてもよくがんばったな」と思ったことはありませんか。自分から進んでやったときは、家族や先生に言われてからやったときよりも、「がんばった」という思いがより強くなるのではないのでしょうか。

「自分から考え、行動する」体験を積み重ねていくと、自分に自信がついて、もっといろいろなことにチャレンジしてみたいという気持ちが生まれてきます。

「自分から考え、行動すること」を心がけて、毎日をすごしてみませんか。



3 えがお こうふく まね わら かど ふくき 笑顔が幸福を招く「笑う門には福来たる」

「笑う門には福来たる」ということわざを聞いたことがありますか。

「つらいときや悲しいときにも、笑顔でいれば、縁起（えんぎ）のよいことが家や家族に訪れるだろう」という意味です。

つらいときや悲しいときに笑顔でがんばることはむずかしいことですが、落ち込んでいるときに、にっこり笑ってみると元気が出てくることがあります。

みなさんの笑顔で、自分だけでなく自分の家族や友達を元気にしていきましょう。



4 ^{まいにち} ^{たいせつ} ^い 毎日を大切に生きよう

みなさんは毎日をどんな気持ちですごしていますか。

学校でのいろいろな活動、家での手伝い、地域の行事への参加、友達と遊ぶことなど、すべてみなさんの成長にとって、とても大切なものです。

「今日はこんなことをがんばろう」と目標をもって生活してみましょう。

そして、1日の終わりに「今日は、どんな1日だったろうか」「勉強や運動を一生けん命にがんばったかな」

「よく考えて行動したかな」など、今日の自分をふりかえる時間をつくってみてはどうでしょうか。



5 ^{あたら}新しいことにチャレンジしよう

新しいことにチャレンジするとき「失敗したらどうしよう」と不安になることはありませんか。どんなにがんばっても、思い通りにいかず失敗することもあります。

でも、失敗をおそれてチャレンジしないことの方が、さらに残念なこととは思いませんか。

チャレンジして、たとうまくいかなかったとしても新たな発見があるかもしれません。その機会をのがすのはもったいないですね。

昔の男鹿の人たちは、天気予報もナビゲーションもない時代に自分の五感だけをたよりに、海に出ていったそうです。勇気がありますね。時代がかわっても、新しいことにチャレンジする心を大切にしていきたいですね。



6 ^{うんどう}運動する^{しゅうかん}習慣を^み身につけよう

みなさんは、毎日運動していますか。

体育の授業のほかにも、ラジオ体操やストレッチなど、家族といっしょにできる運動が習慣化しているといいですね。

健康で生活するには、食事やすいみんなにならんで運動も大切です。体を動かすことは、心の健康にもよいことがあるそうです。大切なのは続けることです。心も体も健康であるために、運動する習慣を身につけましょう。



7 ^{じぶん}自分とちがう ^{かんが}考えも ^{だいじ}大事にしよう

自分とちがう考えに出会ったとき、みなさんはどうしますか。

世の中にはたくさんの方がいます。その数だけいろいろな考え方があります。

ちがう考えに出会ったときは、まず、じっくりと相手の考えを聞いてみましょう。相手が「なぜ、そう考えたのか」と理由を考えながら聞いてみると、自分とちがう考えの中にも、自分の成長につながるアイデアや方法などがあるかもしれませんよ。

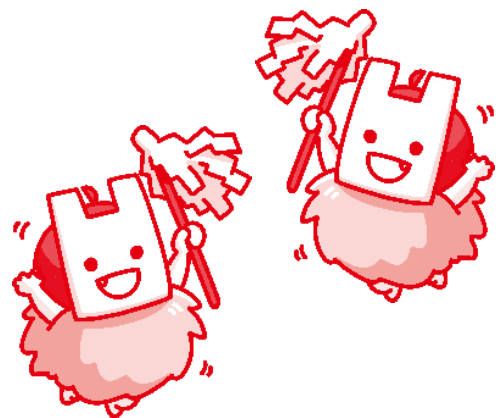


8 ^{こころ} ^{ひと}心を一つにしてみんなで^と ^く取り組もう

みなさんは、運動会や学習発表会などで、みんなで力を合わせてがんばった結果、大成功だったという経験はありませんか。

一人一人のもっている力は小さくても、みんなで力を合わせることで、とても大きな力となります。学級全体、学校全体で力を合わせて行動することで、今まで以上にみんなが幸せな学級や学校にすることができると思いませんか。

「一人はみんなのために みんなは一人のために」という気持ちで取り組めるといいですね。



9 ^{すす}進んで^{しごと}仕事に^と取り組もう

学級では、いろいろな仕事をみんなで分担して取り組んでいます。一人一人が自分の仕事に責任をもって取り組むのはとても大切なことです。

では、だれの当番でも係でもない、仕事が出てきたとき、みなさんはどうしますか。「だれがやるのだろうか」と心配になる人もいるでしょう。「自分がやらなくてもだれかがやるだろう」と思う人もいるかもしれません。

「わたしができるかもしれない」「みんなで新しい分担を話し合おう」と考えて行動することができたら、もっと楽しい学級になりますよ。



10 おがみりよく 男鹿の魅力をいっぱい見つけよう

みなさんは「男鹿の魅力は」と聞かれたとき、何を思い浮かべますか。なまはげなど昔から続けている地域の行事でしょうか。寒風山や入道崎海岸などの自然豊かなすばらしい景色でしょうか。梨やメロン、豊富な魚介類などのおいしい食べ物でしょうか。

男鹿で暮らしているわたしたちにとって、「当たり前だと思っているものやこと」が、他の地域の方々にとっては「特別で魅力的なものやこと」であることが少なくありません。

男鹿市民として、男鹿の魅力をたくさん見つけ、他の地域の方々に伝えることができるようになりましょう。そのためには、男鹿をよく知ることです。地域に出てみると、男鹿の魅力をたくさん発見できると思います。男鹿にたくさんの方が来て、男鹿のことを知ってくれるとうれしいですね。



